

抗 RanBP2 (ヒト) 抗体, ウサギポリクローナル

71-003 100 µl

保存: 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。

抗原: RanBP2 タンパク質の保存された3回繰り返し配列 SKAPKSGFEGMFTKKE の合成ペプチド

形状: 上記抗原ペプチドで免疫したウサギ抗血清から抗原ペプチドでアフィニティー精製した抗体、0.5 mg/ml in PBS-, 50% Glycerol

反応性: ヒト、マウス、ラット

用途

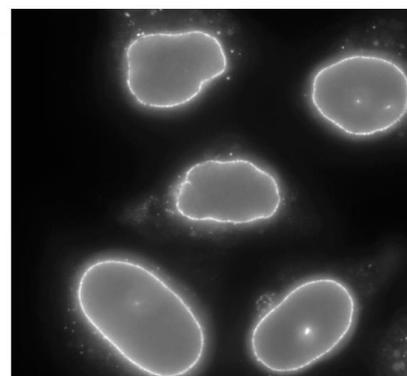
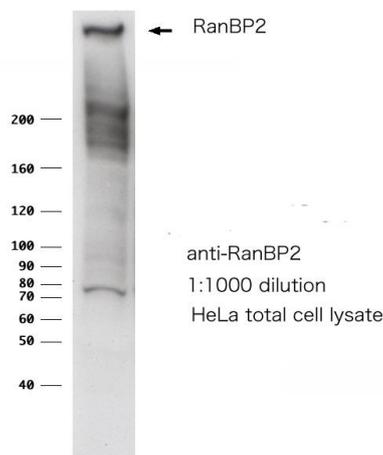
1. ウェスタンブロッティング(x 2,000 希釈)
2. 免疫沈降
3. 間接免疫法による細胞中の抗原染色

背景: RanBP2 はスモール GTP 結合タンパク質 Ran と相互作用するタンパク質として同定され、多数のタンパク質と巨大な複合体を細胞内で形成している。このタンパク質は 3,224 のアミノ酸を含みウェスタンブロッティングで 360 kD のタンパク質として同定される(下図、Ref.1) このタンパク質は mRNA のプロセッシング、タンパク質の核輸送、細胞分裂後の核膜の再構築、細胞周期の制御など多機能に参与する。

データリンク UniProtKB/Swiss-Prot [P49792](#) (RBP2_HUMAN)

文献 本抗体は以下の文献に使用されている。

1. Yokoyama N *et al* "A giant nucleopore protein that binds Ran/TC4." *Nature* **376**:184-188 (1995)
PMID: [7603572](#)
2. Melchior F *et al* "GTP hydrolysis by Ran occurs at the nuclear pore complex in an early step of protein import." *J Cell Biol* **131**: 571-581 (1995) PMID: [7593180](#)



関連商品: # 71-003-1 pBluescript KS(+)-RanBP2 cDNA full size (問い合わせ)